

2018 年度 小委員会活動成果報告

(20 年 月 日作成)

小委員会名	溶融亜鉛めっき鉄筋を用いた鉄筋コンクリート造建築物の設計施工指針改定小委員会	主 査 名：野口貴文 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：早川光敬 主 査 名：橋高義典
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・1979 年に本会より発刊された「溶融亜鉛めっき鉄筋を用いた鉄筋コンクリート造の設計施工指針 (案)」の改定を行う。 ・2017 年度 本文案の検討・執筆 ・2018 年度 本文・解説改定案の検討・執筆 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 無	
	主査 野口貴文 (東京大学)、幹事 兼松学 (東京理科大学)、鹿毛忠継 (国総研)、山田義智 (琉球大学)、濱崎仁 (芝浦工業大学)、小野里憲一 (工学院大学)、福山智子 (北海道大学)、向井智久 (建築研究所)、陣内浩 (大成建設)、斎藤亮介 (清水建設)、松下哲郎 (竹中工務店)、親本俊憲 (鹿島建設)、酒井正樹 (大林組)、武富義和 (日本溶融亜鉛鍍金協会)	
設置 WG (WG 名：目的)	—	
2018 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	14 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 本文案は 2017 年度中に委員会試案を作成し、ほぼ予定通りの進捗であった。 2. 2018 年度は引き続き本文、執筆を行ったが、共通実験において懸案事項が生じたため、本文・解説案の解説に至らなかった。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 指針作成にあたり、溶融亜鉛メッキ鉄筋が構造性能に与える影響について明確にすることが課題として残された。2019 年度に委員会活動を延長して指針案の完成を目指す。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。